

公益財団法人 全国商業高等学校協会主催・文部科学省後援

第63回 ビジネス文書実務検定試験 (1.11.24)

第1級

速度部門問題

(制限時間10分)

試験委員の指示があるまで、下の事項を読みなさい。

〔書式設定〕

- 1行の文字数を30字に設定すること。
- プロポーショナルフォントは使用しないこと。

〔注意事項〕

1. ヘッダーに左寄せで受験級、試験場校名、受験番号を入力すること。
2. 問題のとおり、すべて全角文字で入力すること。
3. 長音は必ず長音記号を用いること。
4. 入力したものの訂正や、適語の選択などの操作は、制限時間内に行うこと。
5. 問題は、文の区切りに句読点を用いているが、句点に代えてピリオドを、読点に代えてコンマを使用することができる。ただし、句点とピリオド、あるいは、読点とコンマを混用することはできない。混用した場合はエラーとする。
6. 時間が余っても、問題文を繰り返し入力しないこと。

受験番号

第63回 ビジネス文書実務検定試験 (1.11.24)

第1級 速度部門問題 (制限時間10分)

現在、日常の様々な場面において、プラスチックは不可欠な素材	30
だ。生活用品に限らず、医療分野や宇宙産業などその用途は多岐に	60
わたる。使い捨て可能な製品も多くなり、同時にプラスチックごみ	90
が増え続けている。昨年、国連環境計画がまとめた資料によると、	120
日本人一人当たりの使い捨てプラスチックごみの発生量が、世界で	150
2番目に多い実態が明らかになった。	168
これらが海洋に流れ込むことで起こる汚染は、世界規模の深刻な	198
問題となっている。プラスチックは、生分解されない性質があるため、	228
破片となっても海中を漂い続ける。これが水深1万メートルを	258
超えるマリアナ海溝でも、近年になって発見されるようになった。	288
世界経済フォーラムの報告によると、2050年までには海洋中の	318
プラスチックごみの重量が、魚類の総重量を上回る見込みだ。	347
その中でも特に問題視されているものが、紫外線や波で砕かれた	377
マイクロプラスチック (MP) だ。これは有害物質を吸着する特徴	407
を持った微細な粒で、回収が非常に困難であり、海中の至るところ	437
で半永久的にたまっていく。海洋生物がMPをエサとともに飲み込	467
むことで、生態系への悪影響が懸念されている。そのため、先進国	497
を中心に使い捨てを抑制する動きが広がりつつある。具体的には、	527
プラスチック製のレジ袋やストローを見直して、環境に対する負荷	557
の少ない素材へ変えるという活動だ。	575
日本はこの問題に対して積極的に取り組むべき立場にあり、早急	605
な対応が求められる。さらに、島国である我が国は、古来より海か	635
ら様々な恩恵を受けており、私たちはこれを次世代へと引き継いで	665
いく責任がある。今必要なことは、利便性よりも環境保全を優先す	695
る意識と行動ではないだろうか。	710